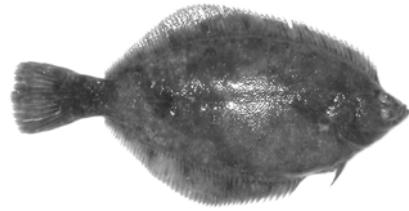


# マコガレイ

*Pleuronectes yokohamae*

地方名  
くろがしら（八戸、陸奥湾）、まがれい（陸奥湾、日本海）



## 生態

- ①寿命：約10年。
- ②成熟：2歳（体長オス15.4cm、メス13.0cm）以上。
- ③産卵期・産卵場：12月～翌年4月。  
 陸奥湾では12月～翌年1月。  
 太平洋では1月～3月。  
 日本海では3月～4月。  
 水深10～60mの砂泥域。
- ④分布：北海道中部以南から大分付近、朝鮮半島南部東シナ海。
- ⑤生態：通常は水深100mより浅い砂泥域に生息。  
 食性は珪藻類、橈脚類、貝類、アミ類、ゴカイ類、甲殻類。

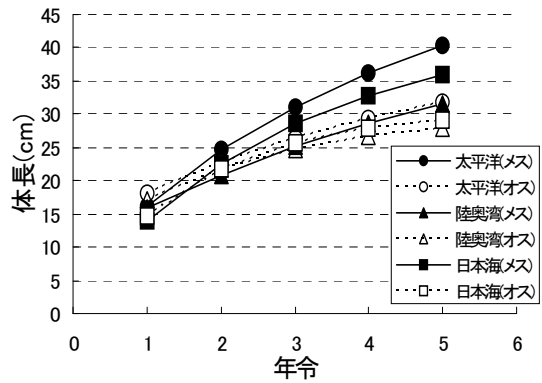


図 青森県におけるマコガレイの成長

## 主な漁業

底建網、さし網、底びき網で漁獲。主漁期は太平洋と陸奥湾では12月～翌年2月、日本海では1月～4月。2歳から漁獲される。

## 漁獲と資源の動向

※県全体の漁獲量の推移を右に示した。資源評価は地区別に次ページに示した。

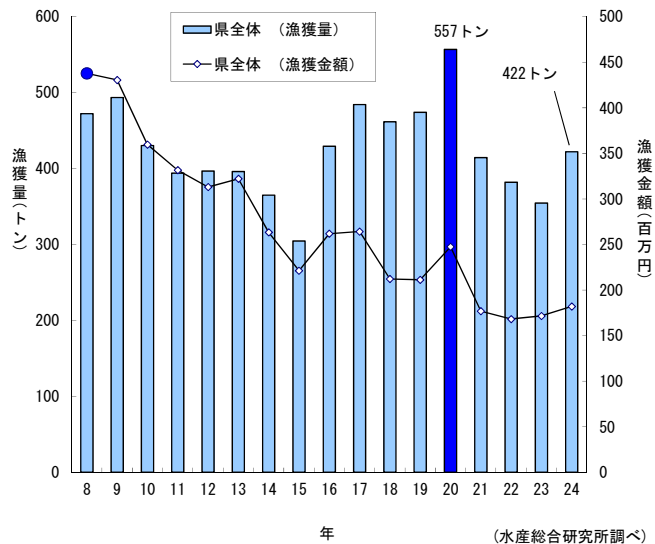


図 青森県におけるマコガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

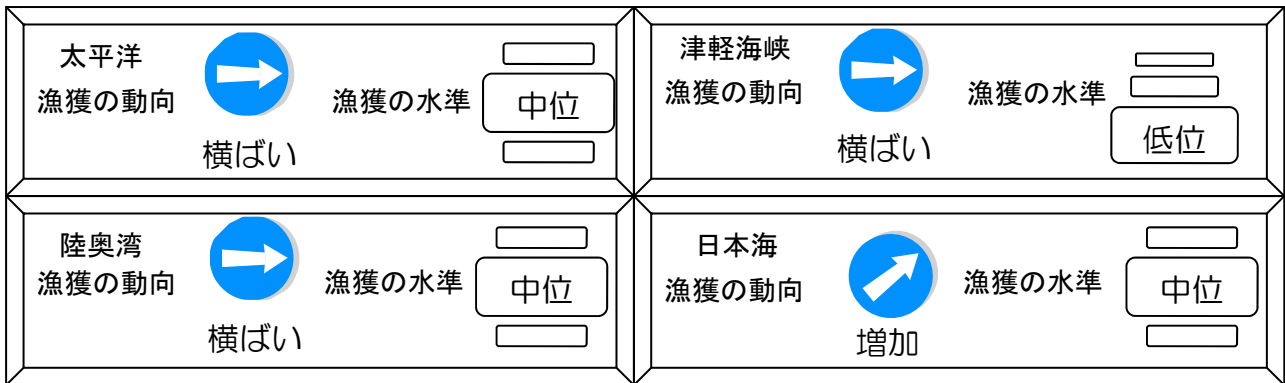
## 資源を上手に利用するために

- マコガレイ資源管理計画（平成13年3月）
- ・全長20cm未満個体の再放流、かれいさし網の目合制限（3.5寸以上）を定めている。
- ☆上記の取り組みを継続することが必要である。

## トピックス

本県に分布するマコガレイは、産卵期が太平洋、陸奥湾口、陸奥湾奥、日本海でそれぞれ異なり、遺伝的にも異なる（日本海区水産研究所）。

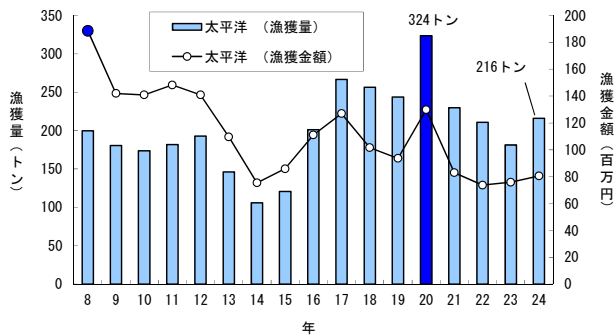
## 漁獲と資源の動向



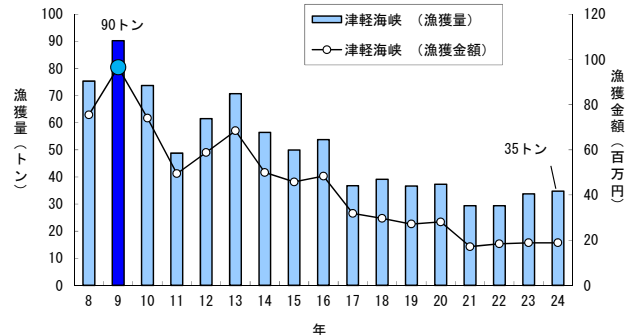
## 海域別漁獲量及び漁獲金額

太平洋では平成21年から緩やかに減少したが平成24年にやや増加し216トン、津軽海峡では平成9年の90トン peaks に徐々に減少し平成21年以降は横ばい傾向で平成24年は35トン、陸奥湾では平成19年以降は減少傾向にあったが平成24年にやや増加し120トン、日本海では平成5年の75トンを最高に増減を繰り返しながら徐々に減少したが、平成15年の28トンを底に増加に転じ平成24年には51トンであった。

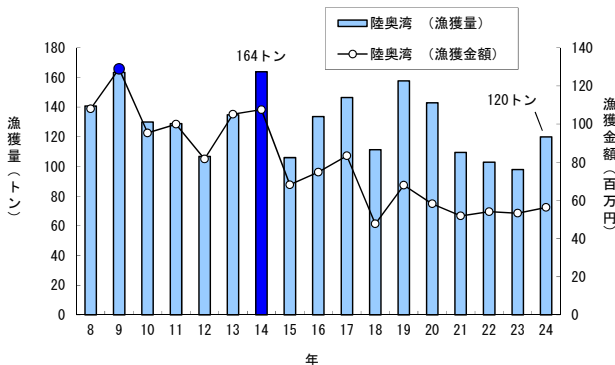
太平洋



津軽海峡



陸奥湾



日本海

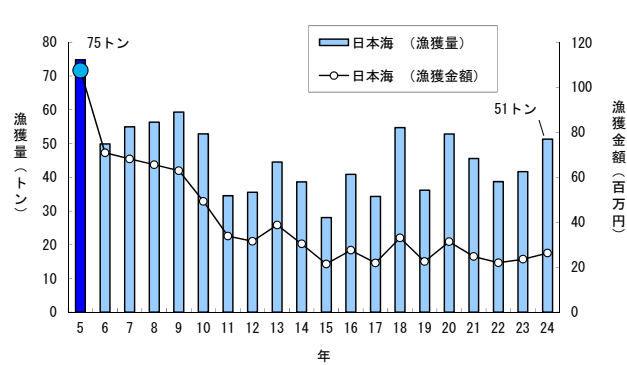


図 青森県におけるマコガレイの海域別漁獲量及び漁獲金額の推移 (水産総合研究所調べ)